

# 施策項目 9 ふるさと教育の充実

**【評価結果】** **【担当課:義務教育課(教育政策課、文化財・博物館課)】**



担当課HP

<b>総合評価</b>	<b>概ね計画どおり</b>
-------------	----------------

<b>定量評価 [指標]</b>	<b>B</b>
------------------	----------

指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
	評価数	2	0	2	0
	d 評価となった指標				

<b>定性評価 [施策]</b>	<b>進展あり</b>
<p>ふるさと教育・観光教育の充実に向けて、北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業を実施し、全14管内に実践校を位置付け、総合的な学習の時間等において北海道の自然や文化、観光産業等の教育資源を活用した教育活動に取り組むとともに、その成果を全2回の実践交流会や普及啓発資料を通して発信することにより、優良事例の共有化が図られた。また、アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習や北方領土に関する学習において、施設や人材・動画教材等を活用した体験学習を通じた学習を行っている学校の割合が増加し、進展が認められるものの、教育資源活用サイト等の一層の周知や活用を促進する必要がある。</p>	

## 【施策の推進状況】

【P】・・・「Plan 令和4年度の主な施策」    【D】・・・「Do 主な取組の状況」  
 【C】・・・「Check 施策の課題」                      【A】・・・「Action 今後の方向」

<b>《課題・背景》</b>	<p><b>(1) 身近な地域の自然環境や歴史、伝統、文化、産業等の理解の促進</b>                  ・北海道の自然や文化、観光産業等の教育資源の活用を通じて、ふるさとに対する興味・関心を高める指導の工夫が必要</p>
	<p><b>(2) アイヌの人たちの歴史・文化等に関する教育の充実</b>                  ・アイヌの人たちの歴史・文化等に関する施設や人材、動画教材を活用した体験を通じた学習の一層の推進が必要</p>
	<p><b>(3) 北方領土に関する教育の充実</b>                  ・北方領土に関する施設や人材、動画教材を活用した体験を通じた学習の一層の推進が必要</p>

<b>(1) 身近な地域の自然環境や歴史、伝統、文化、産業等の理解の促進</b>	
<p>① 「北海道みんなの日条例」を踏まえた教育活動の周知啓発及びふるさと教育・観光教育等推進事業実践交流会等におけるふるさと教育に係る教育資源や教材、Webサイトの活用促進                  ② 北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業において、北海道・北東北縄文遺跡群などの教育資源や教育資源検索サイト等を活用した実践の推進</p>	<p>① 道立施設における無料開放（北海道みんなの日の7月17日に道立美術館・博物館の常設展の無料開放を実施）                  ・修学旅行等の受入可能な施設等のWebページ掲載                  ・ふるさと教育・観光教育等推進支援事業の指定校を対象とした実践事例交流会において、ふるさと教育に活用できる教育資源や教材、Webサイトの情報提供                  ② ふるさと教育・観光教育等推進事業の指定校を対象とした実践事例交流会において、北海道・北東北縄文遺跡群などの教育資源の情報提供や優良事例の交流の実施（7月6日、11月25日）                  ・上記事業による実践事例のWebページ掲載                  ・教育資源検索サイト「もっと知りたい!!『ほっかいどう』」等の更新・活用の周知                  ・北海道・北東北縄文遺跡群を活用した指導に関する「北海道ふるさと教育指導プログラム」の追補版の作成</p>
<p>① 「北海道みんなの日条例」を踏まえた教育活動の充実について、引き続き周知啓発を行うとともに、ふるさと教育・観光教育等推進事業の実践交流会等において地域資源の活用について周知                  ② ふるさと教育・観光教育等推進事業の学習テーマとして、新たに「縄文遺跡群」「北海道の文化遺産等」を設定し、指導プログラムを活用した実践を支援するとともに、Webページ活用による各学校の実践成果等の普及</p>	<p>① 「北海道みんなの日条例」を踏まえた教育活動の推進に向けて、地域資源等の活用について啓発を図ったが、趣旨等をより一層浸透させる必要があることから、引き続き、各種会議等の場を活用して周知が必要                  ② ふるさと教育の充実に向けて、北海道縄文遺跡群を活用した指導プログラムの作成を行ったが、各学校等での指導に生かしていく必要があることから、ふるさと教育・観光教育等推進事業の実践校における活用を促し、取組を支援することが必要</p>

<b>(2) アイヌの人たちの歴史・文化等に関する教育の充実</b>	
<p>① アイヌ教育相談員を活用した事業の実施                  ② 北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業において、アイヌ教育相談員の活用促進、啓発資料の作成、修学旅行等における体験学習で「ウポボイ」を活用した優れた実践事例の紹介、教育資源検索サイト内のコンテンツの改善・充実</p>	<p>① 市町村への「アイヌ教育相談員」派遣（8管内11校）                  ② ふるさと教育・観光教育等推進事業の指定校を対象とした実践事例交流会において、アイヌ教育相談員に係る人材活用の情報提供、優良事例の実践交流の実施（7月6日、11月25日）                  ・アイヌ工芸品の貸出（7管内9校）                  ・啓発資料「ピラサ」の発行（2月・3月 全2号）及びWebページ掲載                  ・教育資源活用サイト「ふるさとNavi」及び教育資源検索サイト「もっと知りたい!!『ほっかいどう』」等の掲載内容の更新・周知</p>
<p>①・②                  引き続き、アイヌ教育相談員の活用について周知するとともに、啓発資料や教育資源活用サイト「ふるさとNavi」において、授業等で活用できる施設や動画等を紹介するほか、各学校の実践成果等をWebページに掲載し、普及</p>	<p>①・②                  アイヌの人たちの歴史・文化等に関する教育については、施設や人材、動画等を活用した体験学習を実施している学校の割合が令和2年度を上回ったものの、目標値を達成していないことから、引き続き、「アイヌ教育相談員」派遣の周知、啓発資料や「ウポボイ」が作成した動画資料の提供、教育資源活用サイト等の周知や活用を促進することが必要</p>

(3) 北方領土に関する教育の充実	
<p>①北方領土対策本部と連携し、市町村への「北方領土の語り部」(元島民・後継者)の派遣や道内全域における北方領土学習事業「ジョバンニの島」上映北方領土学習会、北方領土学習に関するWebサイトの活用促進</p> <p>②北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業において、北方領土に関する教育活動の優良事例の普及啓発や、教育資源サイト内のコンテンツの改善・充実</p>	<p>①・市町村への「北方領土の語り部」(元島民・後継者)の派遣(7管内10校派遣)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小・中学校における北方領土学習事業「ジョバンニの島」上映北方領土学習会の活用(7管内14校)</li> </ul> <p>②・初任段階教員等を対象とした研修会における普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと教育・観光教育等推進事業の指定校を対象とした実践事例交流会において、北方領土教育に活用できる教育資源や教材、Webサイトの情報提供、優良事例の実践交流(7月6日、11月25日)</li> <li>教育資源活用サイト「ふるさとNavi」及び教育資源検索サイト「もっと知りたい!!『ほっかいどう』」等の掲載内容の更新・周知</li> </ul>
<p>①・② 引き続き、「北方領土の語り部」の派遣や「ジョバンニの島」の上映会等を実施するとともに、教育資源活用サイト「ふるさとNavi」において、授業等で活用できる施設や動画等を紹介するほか、各学校の実践成果等をWebページに掲載し、普及</p>	<p>①・② 北方領土に関する教育については、全ての学校が、施設や人材、動画等を活用した体験学習を実施するよう、関係機関と連携し、北方領土に関する各種事業を周知するとともに、教育資源活用サイト等の周知や活用を促進することが必要</p>

**【指標の状況及び評価】**

指標の内容	基準値	目標値(上段)						進捗率	評価	出典(調査名等)	実施主体	調査期日又は調査対象期間	指標の対象
		実績値(下段)											
		(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R4)						
① 「地域や社会で起こっている問題に関心があるか」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した小学校6年生、中学校3年生の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	(H29) 60.7	68.6	76.5	-	-	100	-	-	全国学力・学習状況調査	文科省	R元年度調査項目削除	公立小・中学校の児童生徒(小6・中3)
	中	(H29) 57.5	66.0	74.5	-	-	100	-	-				
② アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習において、施設や人材等を活用した体験を通じた学習を行っている学校の割合(%)	小	(H28) 33.8	47.0	60.3	73.5	86.8	100	88.6%	<b>C</b>	教育活動等に関する調査	道教委	R4.7	公立小・中学校
	中	(H28) 19.8	35.6	46.2	45.0	60.8	76.9	R5.10	89.9%				
③ 北方領土に関する学習において、施設や人材等を活用した体験を通じた学習を行っている学校の割合(%)	小	(H28) 15.1	32.1	49.1	66.1	83.1	100	102.0%	<b>a</b>	教育活動等に関する調査	道教委	R4.7	公立小・中学校
	中	(H28) 13.7	13.5	22.6	12.5	30.6	84.8	R5.10	103.7%				
評価結果	(a) 指標数	(b) 指標数	(c) 指標数	(d) 指標数	定量評価		<b>B</b>						
	2	0	2	0									
新型コロナウイルス感染症の影響により実績値が伸びなかった指標又は低下した指標に対する今後の取組													
d評価に対する今後の取組													